

みんなで夢ある稲生にしよう！！～



夢協だより

発行：夢ある稲生まちづくり協議会

電話386-0059

2021 年 新年



第四十五号

【夢協役員 5 役】



後列左より

鈴木正 事務局長、西井雄一 副会長、
小林文雄 副会長、鈴木誠治 会計

前列左より

瀧口恵子 書記、岩波正夫 会長、坂美代子 副会長

「夢ある稲生まちづくり協議会」会長挨拶

岩波正夫(野町団地)

今年は、コロナウイルスに打ち勝って 夢ある稲生まちづくりを！

稲生の住民みんなが【参画する 協働する】ようにしましょう！！
特に若い人たちの参画を強く希望します！！

昨年度は、新型コロナ感染という世界中が未体験、想像を超える年になりました。稲生夢協行事も相当中止、規模縮小をせざるを得なくなりました。今年はコロナ問題に対処しながら何とか地域活動を活性化させて、将来の稲生まちづくりを進めないといけません。そのためには、老若男女、旧村・新村・混在区の皆が参画し、知恵や意見を出し合って我が稲生のまちづくりをする必要があります。

現在、将来の稲生まちづくりをどうするか、地域計画策定特別委員会で検討を進めています。4月までにはその方向性を報告する予定です。

今年度鈴鹿市全地域、27のまちづくり協議会が発足しました。夢協は発足4年になり、鈴鹿市内でも活動を評価していただいています。その原点は、皆さんが安心安全に住める地区にしたいという想いです。更に向上させていくために、皆さんの要望・意見を寄せていただき、同時に行事・委員会に参画して、躍動するまちづくりをしましょう。

最後に、皆さまのご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。コロナに負けずに頑張りましょう。

【各部会長あいさつ】

【自治会連合部会】 西井 雄一

稲生地区の皆様、新年あけましておめでとうございます。
 本年も、皆様方の益々のご健勝とご繁栄をお祈りします。
 昨年は、新型コロナウイルスにて数々の行事等が中止となり、
 気が滅入る1年でした。
 終息を迎えないコロナウイルスではありますが、稲生地区の皆様と共に住み良い稲生、明るい稲生づくりに向けて、
 役員一同尽力を尽くしていきます。
 今年は、3年に1度の獅子舞が行われる予定です。獅子舞にて厄払いをして頂き、年間行事の規模縮小を視野にいれ
 つつ無事開催できるよう、運営計画を考えて行きたいと思ひます。
 稲生の皆様方、コロナウイルス対策に心掛けて下さい。
 昨年は、お世話になり有難うございました、本年も宜しくお願いします。



西井会長



早川副会長



鈴木副会長

【健康づくり部会】 鈴木 昭一

新年明けましておめでとうございます。
 日頃より健康づくり部会活動にご理解賜り
 感謝申し上げます。昨年はコロナ禍にて
 部会活動を自粛させて頂きました。本年は「当たり前のこ
 とが当たり前になる」ことを願っています。
 「気軽に参加出来る健康づくりの場」を軸にしてウィズ
 コロナ環境下、関係部会とも協働のうえ展開させて頂きま
 す。ご支援ご協力のほど宜しくお願いします。



【安全部会】 伊達 伸治

稲生地区の皆様、そして安全部会構成
 8団体の委員の皆様、明けまして
 おめでとうございます。
 2020年度はコロナ禍での活動を余儀なくされ、活動
 自粛・規模縮小・内容変更等、感染防止を最優先とした
 活動となっていますが、我慢の先にはこれまでの日常が
 取り戻せることを信じて、皆様とともに希望を持って部
 会活動に取り組みたいと思っています。



【幼少年・青少年部会】 村山 昌子

あけましておめでとうございます。
 幼少年・青少年部が夏に募集する作品の
 テーマを「キラリと光る稲生のいいところみつめ」
 にして具体的な稲生の事象を内容としたり、地域学習をし
 たことをふまえて書くようにしたりして表現しやすいも
 のにしたいと考えています。
 また、10月 第4土曜日の「いきいきファミリーダン
 ス」を他の部会と連携した事業にしたいなという抱負をも
 っています。よろしくお願ひいたします。



【文化部会】 吉田 実生

あけましておめでとうございます。
 コロナウイルスに翻弄された昨年では
 ありましたが、そんな状況の中から「ふるさとめぐり」
 ウォーキングという新たな形が生まれるなど、今後の新
 たな可能性が見出された年でもあったのかなと思ひま
 す。また住民アンケートから稲生の郷土文化や歴史の継
 承に対する関心が高いことを改めて感じ、文化部会が担
 う役割の重要性を感じています。本年もご協力の程、宜
 しくお願ひ致します。



【産業振興部会】 生川 喜代一

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルスの影響を受け、
 日本でも春の第一波、夏の第二波、そして秋から冬にかけ
 ての第三波と収束が見えない「コロナ生活」は息苦しい
 日々が続く、満足な活動が行えませんでした。
 昨年、「稲生おんど」の酒の販売権利を「江戸屋さん」に取
 得していただきました。清水醸造様にお願ひし、稲生米「三
 重のゆめ」で醸造して皆様に詩吟していただけたことは良
 かったと思ひます。
 これからも地産地消で、「稲生おんど」はもちろんのこと
 稲生米「コシヒカリ」「ミルキーQueen」等、いろい
 ろと計画して稲生の皆様方に愛される活動をしていきま
 すので、ご支援をよろしくお願ひいたします。



【福祉部会】 飯野 光治

明けましておめでとうございます。
 昨年は、新型コロナウイルス感染の影響
 から安全を最優先にした関係上、地区社協
 のイベント行事「さわやかサロン」や「子育てサロン」
 の開催が出来ず誠に残念な気持ちです。民生委員活動に
 於いては、高齢者がコロナ感染状況下で生活不安を抱え
 る中、見守り活動を通し今まで以上に、対面・電話での
 コミュニケーションを図って心の支えとなり不安払拭に
 努めてきました。生活支援「稲生助け愛ネット」活動は
 日常生活の中での困り事支援として交通手段のない方へ
 の病院への付添い、外出付添い送迎や体力的問題から屋
 内・屋外作業を支援し利用者から大変喜ばれ嬉しく思っ
 ています。今年も福祉部会として地域の方々の声、意見
 を吸い上げて困っている人への支援をして、1人でも多
 くの方に喜ばれるように活動していきたいと思ひます。



【環境部会】 平田 幸雄

明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナで世界全体の動きが
 スローダウンして、大変な年でした。
 環境部は新川工事の推進をしておりますが、停滞してい
 た工事が10月に入ってようやく再開され、前進を見る
 ことができました。また、コロナで集まりにくい中、年
 末に西の宮池周辺の清掃活動に大勢の方がボランティ
 ア活動をしていただきましてありがとうございました。
 今年こそはコロナが終息し、世の中の活動が元に戻るこ
 とを願っております。本年もご協力をよろしくお願ひ申
 上げます。



【監査部】 杉野 隆治

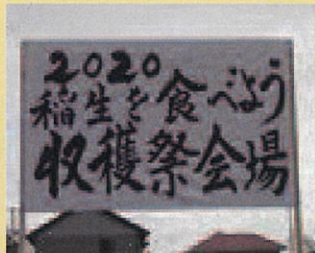
明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナの感染拡大が、
 私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼす
 ようになり、自制自粛の生活を余儀なくされた一年とな
 りました。
 夢協の活動も制約を受けざるを得なくなり、本年も模索
 して進むことになりそうです。
 監査部として、状況をよく把握して、住民目線で適切な
 監査を行ってまいります。
 ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



稲生を食べよう！秋の収穫祭 縮小して開催

秋晴れの 11 月 22 日（日）に「稲生を食べよう！秋の収穫祭」を開催しました。今年はコロナ禍の中での開催となり、大幅に行事規模を縮小しての実施としました。来場者の皆様には、検温・手指のアルコール消毒・氏名の記帳をお願いし対策としました。また、スタッフより声掛けし、おにぎりのおもてなし等の列は密を避けるよう心掛けました。稲生米で作ったおにぎりとお茶のおもてなし、親子いも堀り、野菜の収穫体験（大根、キャベツ、白菜、ブロッコリー）は、人数制限はありましたが大変盛況で多くの人に並んでいただきました。今回の来場者は約 600 名、スタッフ 80 名の参加でした。スタッフの皆様はじめ、ご協力いただいた方々にお礼申し上げます。来年度は状況が不透明ですが、例年通り開催できることを願っております。

収穫祭実行委員長 小林 文雄



稲生地区防火訓練を実施しました！

11 月 28 日（土）今年度の防災委員会では、大勢の集まる防災訓練を中止し、各自治会で消火活動に取り組んで頂くように、自治会長と自主防災隊長に参加をいただき、消火活動の訓練を実施しました。

予定通りほぼ全員の皆さんに参加いただきありがとうございました。

万一火災が発生した時には、家の近くの道路にある消火栓の蓋を開けて、ホースをつなぎ、放水する作業は、住民誰もが出来るまた、やらなくてはならない作業となります。消防分団や、消防署が来る前に（数多くの災害が発生すると消防車は来ない）自分から、また地域の連携により消火活動をしなければなりません。そのために住民全員が、その取扱いを知っておく必要があります。家の近くの道路に設置されている消火栓のマンホールがどこにあるか、接続するホース・操作バルブがどこにあるか、調べてみてください。自分の家や、近所の家で火災が発生した時には、消火栓を使って放水出来るよう操作方法を知り、心の準備をしておいてください。どうぞよろしくお願い申し上げます。各自治会で防火訓練の計画をされましたら、公民館までお知らせください。必要により防災委員会がサポートいたします。

防災委員会委員長 鈴木 五郎



【選挙管理委員の変更と選挙管理委員長のお知らせ】

夢協だより 12/5 号で選挙管理委員の紹介をしましたが、藤井敏和さん（野町）は代議員のため、杉野憲夫さん（野町）に変更させていただきます。事務局の確認不足で申し訳ございませんでした。選挙管理委員長は互選の結果、田原徹さん（鈴鹿ハイツ）に決定しました。



夢協公民館だより

鈴鹿市稲生塩屋三丁目 2-34

TEL059-387-0479

令和 3 年 1 月 5 日



新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。

みなさんどんな新年を迎えられたでしょうか。新型コロナウイルス感染症問題で世の中生活スタイルが変わってしまいました。正月の迎え方も変わってしまっていることでしょう。

これも新しい時代の在り方として受け入れざるを得ないように思います。

公民館活動の在り方も、このような状況の中でどのようにしていかないといけないか、公民館事業を皆さんと一緒に研究しないといけないと思っています。公民館運営は地域住民の生涯学習及びまちづくりの拠点施設として住民の参画で運営することが基本です。今年もコロナ禍の環境が続くと思われます。皆さんの様々なご意見をいただきながら運営企画していきたいと思っています。地域交流の場として、老若男女が気軽に利用でき地域に愛される公民館になるように心がけて運営していきたいと職員一同思っております。ぜひ今年もご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。皆様が楽しく公民館活動に参画されることをお待ちしております。

稲生公民館運営委員会 委員長 岩波正夫
稲生公民館 館長 竹内秀幸、職員一同

令和 3 年度サークルを募集します！！

令和 2 年度サークル活動が 3 月末日で終了します。

令和 3 年度に「新しくサークルを立ち上げたい」とお考えの方は、2 月 5 日(金)までに公民館窓口にご相談ください。(条件によりご希望に添いかねる場合もございます。)現在活動中で引き続き活動希望のサークルは、申込書を 2 月 3 日(水)までに提出してください。

サークル生募集は 2 月 20 日号の夢協公民館だよりでお知らせする予定です。

サークル立ち上げ条件

- ① 同じ学習内容の講座は一つ
- ② 参加人数は 5 人以上(講師を含む)を確保すること
- ③ 生徒 4 名は稲生地区住民であること

(参考)公民館サークル活動とは……

- ・ 地域住民を主体としたメンバーによる活動であること。
- ・ 年間計画が立てられていること。
- ・ メンバーによる参加費で運営されていること。
- ・ 住民が平等に参加できる機会を与えられていること。
- ・ 学習内容が生涯学習としてふさわしいものであること。

* 公民館が必要とする行事に参加する。(地域協働課資料より抜粋)



【注】稲生地区の税申告相談は 2 月 24 日(水)です。詳しい内容は、広報すずか 1 月 20 日号でご確認ください。